

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 豊橋市立牟呂中学校

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他（例：小中高一貫）

所在地 〒441-8077
愛知県豊橋市神野新田町イノ割1番地の3

E-mail muro-j@toyohashi.ed.jp

Website http://www.muro-j.toyohashi.ed.jp

幼児児童生徒数 男子 291名 女子 298名 合計 589名
幼児・児童・生徒の年齢 12歳～15歳

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

3. 活動内容

(1) 活動の概要

当校は、「大志」を校訓とし、「Be Ambitious 明日の自分づくり」を活動テーマとして、ESDを地域や社会の一員として主体的・協働的に活動する場と捉え、ESDの実践を通して、学年や活動ごとに、多面的、総合的に考える力、他者と協力する態度、進んで参加する態度、コミュニケーションをおこなう力の育成を目標とした。

具体的には、環境、防災、福祉を柱に、①地域に貢献する活動、②地域と学校で協力して行う活動、③福祉についての学習活動を行った。

①地域に貢献する活動

- ・支える立場として災害に備えるための活動

3年生は、総合的な学習の時間で防災について考えてきている。身近なものを使った介護体験、応急手当、救急救命体験等の救護に関する活動を実際に体験し、いざというときに役立てるようにしている。

11月11日（日）に、校区合同防災訓練を実施した。朝8時に地震が起きた想定で、緊急時集合場所に集合し、中学生が中心となって小学生と一緒に最終避難場所の小学校（牟呂小・汐田小）へ移動した。また、中学3年生が、小学生に対して応急手当等の講座を行い、学んだことを伝える活動を行い、地域に貢献できる生徒を育てている。

- ・地域のお年寄りとの交流活動

牟呂中校区には、約1200名のお年寄りが住んでいる。その方々へ年賀状を送る活動を行っている。11月半ばから、準備を進め、生徒一

人につき、2～3枚書いて、元旦に届くように投函する。一人一人に感謝の気持ちを込めてイラストや言葉を考えて、時間をかけて丁寧に年賀状の作成を行った。この活動を通して、お年寄りを身近で大切な存在として意識できる生徒を育てている。

②地域と学校で協力して行う活動

- ・校区清掃活動（牟呂用水清流化運動）

昭和50年から実施されている牟呂用水清流化運動は、牟呂用水の整備に伴い、校区清掃活動として引き継いで活動をしている。12月2日（土）に、通学団ごとに公園や公民館、用水沿いの清掃活動を行った。校区の各団体、保護者、校区の住民とともに活動を行うことで、校区の一員としての自覚を高め、校区を愛する心を育てている。

③福祉についての学習活動

- ・福祉体験活動

1年生は総合的な学習で福祉について考えてきている。7月には福祉実践教室で手話、車いす、点字などの体験をした。11月には市内にある65か所の福祉施設を訪問し、2日間の体験学習を行った。障がいや高齢者について考えることで、思いやりや助け合いなどの福祉の心を育てている。



①校区合同防災訓練
三角巾の使い方を教える様子



①お年寄りとの交流活動
今年度送った生徒作成の年賀状



②校区清掃活動
校区民と一緒に活動する生徒



③福祉体験活動
施設利用者との交流の様子

(2) 活動の詳細

① 活動内容

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

特になし

② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。

<p>本校はキャリア教育についての研究を行ってきており、小学校と連携をとりながら、9年間を見すえたカリキュラムを編成してきた。また、将来を生き抜く力（基礎的汎用的能力）を育てるために、単元や授業で育てたい力を明確にすることを行ってきた。</p> <p>具体的には、総合的な学習の時間を中心としながら、合科関連的に教育課程を考えるとともに、生徒の振り返りなどからねらいと活動が適切であったかなどの反省を行い指導方法の改善に努めている。</p>
--

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。

総合的な学習において、大テーマを変えることなく活動に取り組んでいる。1年生では、福祉。2年生では、職業（働くこと）。3年生では、防災としている。大テーマを統一することで前年度の反省を生かして活動できる。また、決められているのは大テーマのみであるため、新年度において学年会で話し合いが行われ、具体的な活動を決めていく。大テーマは同じであっても、活動内容や時期が異なることもあるが、前年度の反省を生かすということが生かされており、継続して取り組める要因となっている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。

直接ユネスコスクールとしての活動についての外部アンケートをしたわけではないが、福祉の体験や職場体験においては活動後に各施設にアンケートをお願いしている。おおむね「すすんで活動に参加していた。」や「スタッフのことをよく聞いて協力してくれた」など狙いとしている活動の評価となっている。また、生徒達にもアンケートを行い、生徒たちがどんな力が育ったと感じているかも調査した。課題としては未来のためになにをやるか考える力が育っていないという結果であった。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。

持続可能な開発の活動のひとつであり、本校の3年生のカリキュラムに位置づけている防災では、地域を巻き込んだ防災訓練を行っている。3年前から中学校が主導となり、複数の小学校の校区民や自治会と協力して行うようになった。避難経路の確認や避難先での中学生による小学生に向けての防災教室などを行っている。
生徒の防災に対する意識の高まりが見られるとともに、中学生の校区の防災リーダーとしての自覚が育ってきている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）

福祉連絡協議会や社会連絡協議会などは事業所との連絡を取るさいにパイプ役になってもらっている。また各事業所や福祉施設においても、体験学習において協力をお願いすることがあり、何年も継続して行っていることで、学校の事情を理解してもらえる事業所もある。
福祉においては、車椅子バスケットボールチームのブリリアントキャッツの選手や愛知医療学院短期大学の鳥居昭久先生をゲストティーチャーとして招くなど、年によって異なる他団体と協力することもある。

⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成

防災の活動では、牟呂小、汐田小、牟呂中の3校合同で「校区合同防災訓練」を実施している。地震が起きた想定で自宅から避難する活動を行った。校区内の集合場所に地域ごと、地域住民及び小中合同で集まり、2つの小学校に避難中学3年生が小学校に訪問し、防災で学習したことを伝える活動を行っている。

⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）

校区内の集合場所に地域ごと、地域住民及び小中合同で集まり、2つの小学校に避難した。また、中学3年生が小学校に訪問し、防災で学習したことを伝える活動を行った。そのことで、中学3年生には校区の防災リーダーとしての自覚が育ってきている。また、小学生の感想には「あんな中学生になりたい」という感想も見られ、憧れの思いをもたせることができた。また、校区の方で防災訓練に参加してくださる方も増えてきており、校区の防災意識の向上も見られる。

(3) 平成30年度の活動計画

平成29年度と同様の内容で、活動を行っていく。

<主な活動>

防災…5月～ 3年生総合「災害へのかかわり方を考えよう」
夏休み リーダー会による防災に関する伝達講習会
9月 三角巾の使い方、毛布による運搬法、新聞スリッパなどの実技練習

11月11日（日）校区合同防災訓練
11月中旬～12月 お年寄りへの年賀状作成

環境…11月28日（水）校区清掃活動（牟呂用水清流化運動）

福祉…7月～ 1年総合「ともに生きる～福祉の心を育てよう～」
7月 福祉実践教室（手話、車いす、高齢者、点字などの体験）
11月 福祉施設訪問